

「口座不正利用」に関するアンケート結果（2019年度～）

(対象：正会員・準会員・特例会員192行、単位：件)

○ 口座不正利用に伴う口座の利用停止・強制解約等の件数の推移について（図）

時 期	利用停止	強制解約等	合 計
2019年度	41,897	20,069 (17,235)	44,731
2019年 4月～ 6月	10,337	4,783 (4,125)	10,995
2019年 7月～ 9月	10,940	4,996 (4,311)	11,625
2019年10月～12月	11,436	5,815 (5,018)	12,233
2020年 1月～ 3月	9,184	4,475 (3,781)	9,878
2020年度	42,982	21,089 (18,156)	45,915
2020年 4月～ 6月	8,175	3,491 (2,867)	8,799
2020年 7月～ 9月	10,754	5,143 (4,436)	11,461
2020年10月～12月	12,489	6,664 (5,942)	13,211
2021年 1月～ 3月	11,564	5,791 (4,911)	12,444
2021年度	52,242	24,705 (22,570)	54,377
2021年 4月～ 6月	13,157	5,902 (5,192)	13,867
2021年 7月～ 9月	12,880	6,005 (5,514)	13,371
2021年10月～12月	13,073	6,734 (6,338)	13,469
2022年 1月～ 3月	13,132	6,064 (5,526)	13,670
2022年度	15,354	6,782 (6,282)	15,854
2022年 4月～ 6月	15,354	6,782 (6,282)	15,854
2022年 7月～ 9月			
2022年10月～12月			
2023年 1月～ 3月			

(注1) 「口座不正利用」とは、「ヤミ金融業者の返済金振込口座(出資法違反等)」、「サイト利用代金等の債権を譲り受けたと偽って架空の代金請求をする際の代金振込口座(詐欺)」、「いわゆる『オレオレ詐欺』における振込口座(詐欺)」等、法令や公序良俗に違反する行為に銀行預金口座が利用されること。

(注2) 「件数」は、原則として口座単位。

(注3) 強制解約等の件数のカッコ内は、当該期間を含めずでに口座利用停止措置を講じていた口座について、その後強制解約等に至った件数。

(注4) 合計数は利用停止および強制解約等(除く既口座利用停止)の合計。

すなわち、合計数は $15,354(\text{利用停止件数}) + 6,782(\text{強制解約等件数}) - 6,282(\text{既口座利用停止件数}) = 15,854$

(注5) 2014年度以降の計数から、特例会員の計数を含めて集計している。

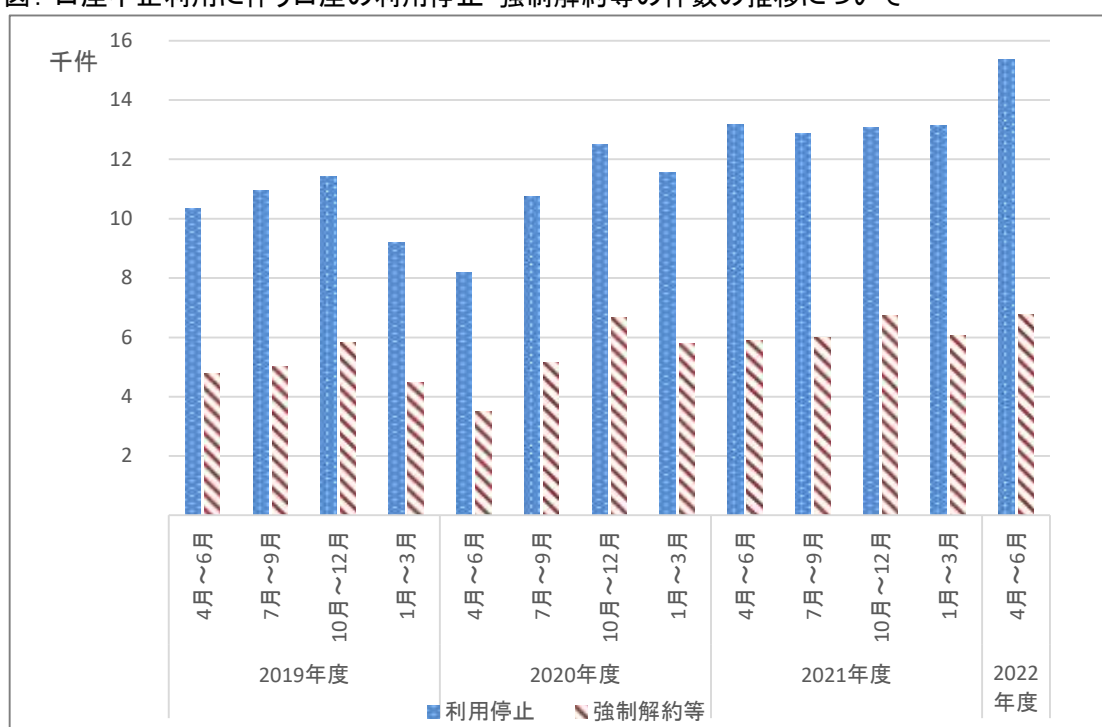
○ 口座不正利用に伴う口座の利用停止・強制解約等の残存口座数および金額について

(単位:百万円)

2022年6月末現在	口座数	金額
利用停止、または強制解約後に別段預金等に移して管理している口座数および資金総額	318,083	16,637
うち振り込め詐欺救済法の対象と考えられる資金総額	45,682	3,447
うち1,000円未満口座	(27,366)	(11)

(注)2014年度以降の計数から、特例会員の計数を含めて集計している。

図：口座不正利用に伴う口座の利用停止・強制解約等の件数の推移について



以 上